

日商簿記3級対策講座(平成30年2月試験対策)

講 義 実 施 内 容

●基礎講義(1コマ180分) 18:00~21:00

回数	日程	講 義 内 容
1	12月4日(月)	簿記の目的・損益計算書と貸借対照表・取引と仕訳 P2~P21
2	12月7日(木)	勘定口座への記入方法・主要簿と補助簿・試算表・決算 P22~P50
3	12月11日(月)	商品売買の記帳方法 P52~P72
4	12月14日(木)	商品有高帳・現金の基調方法・当座預金の記帳方法 P73~P85
5	12月18日(月)	小口現金出納帳・手形の記帳方法 P86~P106
6	12月20日(水)	有価証券・有形固定資産・その他の債権および債務・資本金 P108~P123
7	12月21日(木)	訂正仕訳・試算表の作成・伝票 P124~P150
8	1月15日(月)	決算・売上原価の計算・精算表・貸倒引当金 P152~P167
9	1月18日(木)	減価償却・繰延べ・見越し P168~P189
10	1月22日(月)	消耗品および消耗品費・現金過不足・損益計算書の作成・貸借対照表の作成 P190~P124

日商簿記3級の試験構成は、全5問、試験時間2時間で100点満点中70点以上が合格という検定試験です。3級商業簿記は、個人商店を前提とした複式簿記による記帳処理の基礎、および簿記一巡の理の流れを学習していきます。この3級の内容が理解できれば、2級の内容もスムーズに学習できるようになります。まずは前半の6回で簿記の基礎となる用語、仕訳を学習し、後半の7回で帳簿の記入方法、決算整理、財務諸表の作成を学習します。また、基礎講義終了後に確認テストを実施し、受講生の習熟状況を見るための成績管理と弱点分析を行ない、弱点克服のための的確な指導を行ないます。

回数	日程	講 義 内 容
11	1月25日(木)	総まとめ演習① 応用問題解答方法
12	1月29日(月)	総まとめ演習② 応用問題解答方法
13	2月1日(木)	総まとめ演習③ 応用問題解答方法
14	2月5日(月)	第1回答案練習会 解答解説
15	2月8日(木)	第2回答案練習会 解答解説
16	2月12日(月)	第3回答案練習会 解答解説
17	2月15日(木)	公開模試 解答解説
18	2月19日(月)	最終確認答練① 解答解説
19	2月22日(木)	最終確認答練② 解答解説

答案練習会では本試験と同様に第1問から第5問のヤマ問題を中心に試験を行います。模擬試験を受けることによって得意な分野、苦手な分野をはっきりと把握し、弱点補強を重点的にを行いますので、より合格に近づくことが出来ます。

※検定試験 2月25日(日)予定